

## AIDS 孤児里親通信

## 大学生になりました！



AWCで奨学金を送っている「希望の家」のジャレイ君とソムサック君の二人がチェンマイラジャパット大学に見事合格し、通い始めました。大学の入学金や授業料などの半額を希望の家からの奨学金で補い、卒業してから返済してもらう制度を創ったそうです。この中にAWCからの奨学金も使われています。

二人は山岳民族の生活をよりよくする手伝いがしたいと社会開発を専攻しているそうです。

希望の家の子どもたちにとっても、がんばって勉強すれば大学にも行かれるという目標にもなり、大学を卒業できれば、その先の職業の選択の幅も広がります。

家庭の事情で進学を断念したA君が、後輩たちに学校に行くことの大切さを話して聞かせ、その話を真剣に聞いた子どもたちは、それまでさぼりがちだったことや、熱心に勉強していなかったことを反省し、まじめに取り組むようになったということでした。

スタディツアーで訪ねた時にも、夕食後の自習時間には大きい子が小さい子の勉強を教えている姿が見られました。教えられていた子が、次には教える側になり、子どもたちは順に成長しています。

食事作り・畑や豚・にわたりの世話等も係が自分の責任としっかりと果たしています。

これからもAWCでは、AIDS孤児里親基金で子どもたちの明るい未来のために支援を続けたいと思っています。引き続きご協力いただけますようお願い申し上げます。



大学生になったジャレイ君とソムサック君

## 日本からのプレゼント

スタディツアーの際に「支援キルトの会ふーぷ」、「ベビーキルトかわさき」、北海道の「QUILT SESSION」からご寄付いただいたキルトを「希望の家」と「愛の家」に、仙台の「ウルスラ幼稚園」「ハビタットフレンズ仙台」からいただいた文房具をご寄付を「愛の家」に届けました。どのプレゼントにも子どもたちが元気に成長してほしいという願いがこめられています。

子どもたちは沢山のプレゼントに歓声をあげて大喜びでした。

「遠く離れた国に自分たちを応援してくれている人々がいるということが子どもたちを大変勇気づけます」とそれぞれの団体の責任者から感謝の言葉をいただきました。

皆様からのご協力に心から感謝申し上げます。



キルトは「愛の家」の子どもたちから引っ張りだこ大きな子までキルトの中に潜り込んでいました



笑顔でキルトを受け取る希望の家のタッサニーさん



キルトと文房具のプレゼントを持って記念撮影(愛の家)

## AIDS予防啓発活動

### シリーズ企画「大切なものは何ですか？」

AWCでは2010年度シリーズ企画として「大切なものは何ですか？～子どもたちのセクシャルライツ 子どもたちの性教育を考える タイから日本から～」を実施しました。

内容は以下の通りです。

2010年6月12日・8月7日・11月20日

シンポジウム「子どもたちのセクシャルライツ  
～子どもたちの性教育を考える  
タイから日本から～」

講演会「性感染症の今 ～AIDS、まだ  
他人事だと思いませんか？～」

朗読「こどもの権利を買わないで  
～プンとミーチャのものがたり～」

子どもの人身売買・性搾取・HIV/AIDSについて実話をもとに描かれた絵本「こどもの権利を買わないで」のイラストをスクリーンに映しながら、生の朗読とチェロの生演奏と歌で参加者に届けられるメッセージは心に深く響き涙される方もいらっしゃいました。講演やシンポジウムでは、現在の日本の性教育の現状を聞き、タイ山岳民族の青少年向けに始められた性教育ワークショップの報告も行われました。

多くの参加者から現在行われている子どもたちへの性教育事情や若者たちの性に関する考え方や行動などを理解できた、おかしかったら行動に移すことが大切だと思った、等の感想をいただきました。



### ご協力ありがとうございました



#### 里親・里親基金にご寄付くださった皆様

赤間幸子 阿部潔 安斉れい子 伊藤美知子 稲子谷三枝子  
今井久子 岩瀬佳子 上野恵子 岡本絹枝 金子清治 齊藤徹  
相楽裕子 佐々木雅祥 関子誠子 高橋清実 武井晴子 田中伸明  
土田たか 野澤一良 矢ヶ崎佐和子 山下忠顕  
支援キルトの会ふーぶ 地球の子どもを応援する会  
QUILT SESSION ベビーキルトかわさきハビタットフランス仙台

#### 現地調整・スタディツアー参加者

原梓 出羽明子 富田紋子 篠原大作 永山愛 仁藤里香 山本博子

#### 朗読上演などに協力してくださった皆様

西垣千江 石島榮一 高田優子 国方洋子 常光明子 村瀬幸浩  
佐藤明子 原梓 亀井恵理香 篠原大作 山本佳世 永井恭枝 牧孝  
福井友子 山方保子 林田そう太 入口栄次郎 田辺烈 安藤芳子  
山本博子 落合貴美恵 三浦杏奈 マリ・クリスティーン JICA横浜  
男女共同参画センター横浜北 横浜市AIDS市民活動センター

\* 記載漏れ・間違いなどございましたら、事務局までご連絡下さい。

**皆さま、ありがとうございました。**

### HIV/AIDS予防啓発活動

2010年8月 AIDS文化フォーラムin 横浜

2011年11月 世界エイズデーin 横浜

また、今年も好評の「プラバンでレッドリボン・ストラップを作ろう！」という企画をエイズデーイベントで実施しました。HIV/AIDS啓発活動として、どなたでも楽しみながら参加できる企画なので、これからも実施していきたいと思っています。

### 送金しました (2009年12月～2010年11月)

子どもたちの医療費・看護費・教育費・生活費・奨学金して、下記の通り送りました。

**\* 愛の家 \* 日本円：30万円と12,000パーツ**

\* 「愛の家」指定寄付含む

**\* 希望の家 \* 日本円：20万円と2,000パーツ**

### AIDS孤児里親・里親基金にご協力ください。

チェンマイのAIDS孤児施設「愛の家」「希望の家」の子どもたちの医療費・看護費・教育費・生活費などの支援をお願い申し上げます。

里親：毎月5000円／年60000円の継続支援

里親基金：一口1000円、何口でも可

振込先：郵便振替口座 口座番号：00200-0-4109 口座名：AWC

\* 備考欄に「里親」「里親基金」と明記してください。



## アジアの女性と子どもネットワーク

〒231-0015

横浜市中区尾上町3-39 尾上町ビル9F YAAIC内

TEL/FAX 045 (650) 5430

Email : awc@h6.dion.ne.jp

URL : http://www.awcnetwork.org

発行：2010年12月20日

発行元：アジアの女性と子どもネットワーク

発行責任者：山本博子

編集担当：安藤芳子・牧孝・落合貴美恵

